

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000156
法人名	医療法人 佑志会
事業所名	グループホーム 花々館
所在地	鹿児島県日置市伊集院町徳重三丁目3番地14 (電話) 099-273-8787
自己評価作成日	令和4年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

入居者様やご家族様の方々が穏やかに安心して毎日が過ごせるように、職員が情報を共有しながら支援することを心掛けています。地域の行事もコロナ禍で中止になり交流が難しいところです。母体である守屋病院と医療連携を図り、入居者様の健康管理を24時間体制で見守っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

- ・当事業所は、関連施設として住宅型有料老人ホーム、居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション等の施設があり、法人間の連携や協力が図られている。
- ・事業所内で、利用者が楽しく過ごせる工夫を職員で話し合い、10月に「小運動会を」実施した。利用者は白赤のはちまきをつけ、ボール転がし・パン食い競争・お手玉競争に参加し、家族は、ガラス越しの応援で久しぶりの家族の姿を見ることができた。日頃気づいていなかった利用者の姿を見ることができたとの職員の感想である。
- ・利用者全員が協力医療機関に週2~3回リハビリに送迎車で通院している。終了後は、車中から季節の花を眺めたり寄り道ドライブを楽しむ支援をしている。
- ・管理者は職員が法人内外の研修を受けられるように支援し、職員の資質向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員、入居者様の見えるところに掲示し、朝のミーティングで唱和し同じ目標に向い実践できるよう心がけている。	理念は、玄関・ホールに掲示している。朝のミーティングで唱和し、利用者状況やケアのあり方について話し合い、理念を共有した意見統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々との挨拶、声掛けをしています。コロナ禍で自治会の行事に参加できていない（中止等により）	敷地内の駐車場や近隣散歩の途中で地域の方と挨拶や話をしていく。地域の行事は自粛しているが、自治会長や知人が利用者の様子を案じて来られることもある。地域住民の認知症相談に応じている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎年、地域の中・高校生の体験学習の協力をさせて頂いております。職員の中には認知症サポーターとして、地域の研修会のお手伝いもしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に自治会長、日置市介護保険課、包括支援センター、ご家族代表、守屋病院、グループホーム職員で開催しておりましたが、コロナ禍でできない為、書面開催で、意見・助言をいただいています。	会議は書面で事業所・利用者の状況報告をしている。市には、管理者が窓口で書類を手渡して説明を行っている。前回の質問・意見等は経過をふまえて書面で報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議等で相談、助言等連携を取らせていただいております。市主催の勉強会や研修会にもできるだけ参加するよう努めています。	窓口に出かけたり電話で状況を話し指導・助言を受けている。福祉関係の協力や事業所の運営状況を報告し、協力関係を築くように取り組んでいる。市主催の研修会には参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会による勉強会を行っています。職員が知識を学び、共通認識を図れる様努めています。	玄関に「身体拘束廃止宣言」を掲示している。身体拘束をしないケアのあり方について、2ヶ月毎に勉強会を実施している。6ヶ月毎に指針を参考に利用者の安全を確保しつつ自由な生活の過ごし方を全職員で話し合っている。身体拘束適正化の内容や条文の見直しを検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	半年に1回、虐待防止自己チェックリストを行い常に意識できるように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間行事計画の中に取り入れ、具体事例を取る上げることで理解しやすいよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者やご家族が安心して利用できるよう相談に応じるようにしています。契約時に書面を見ながら説明、確認を行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族が面会に来られた時や、電話連絡があった時等、日頃の状況説明等行っています。入居者様等は、日頃の会話の中から、意見や意向を汲み取れるよう努めながらコミュニケーションを図っています。</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族には面会時や電話等で意見を聞き、アンケートも取っている。気軽に言える雰囲気づくりに努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から職員とのコミュニケーションを心がけ、必要に応じて事務局との連携を図っています。毎月のスタッフ会議にも事務局の参加をお願いしています。</p>	<p>毎月、職員会議やユニット会議で要望や意見等を聞く機会を設けている。備品等の購入要望の場合は即対応している。日頃からコミュニケーションをとり、問いかけたり、聞き出しをして職場環境に心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則を職員が見れるところに置き、いつでも閲覧できるようにしています。希望や意向を話しやすいように、日頃よりコミュニケーションをとり、話しやすい関係作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得の手伝いや、研修開催時には、積極的に参加できるように声掛けしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列のグループホームとの情報共有を図ったり、院内勉強会開催時はできるだけ全員参加できるようにしています。管理者、事務局との向上委員会等も毎月開催し、情報共有しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前から面会やSW、主治医、看護師、ご家族、本人等と連絡を取り、情報提供を受け、ご本人の理解を深めるよう努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前より本人の思いや意向を聞き不安のない様、何度でも相談や、説明をさせていただき不安の軽減を図っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人や、ご家族の意向確認や相談しやすい様に、関係スタッフとの情報共有を行い協力を得ながらアセスメント行うようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人らしさを知り、身体状況や思いを知ること、できることに着目した安心できる居場所作りを心がけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会はガラス越しで短時間で行い、電話での取り次ぎ等も行っていきます。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍の為、家族以外の方との面会等できないが、電話や、手紙のやり取り等のお手伝いをしています。</p>	<p>窓越しの家族面会や馴染みの知人からの電話の取次ぎ支援をしている。近所の知人より手紙が届き喜ばれている。利用者は週に2~3回送迎車でリハビリに出かけ、帰りにミニドライブをして、馴染みの関係が、途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや行事の提供、テーブル配置等工夫し、入居者同士が良い関係作りができるよう心がけています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>協力病院へ入院された方等は様子伺いをさせて頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人や家族と話す機会を設けたり、ケースカンファを行い個別に問題点の抽出、検討、把握対応に努めています。	利用者の表情やしぐさ・声かけで希望や意向の把握に努めている。利用者で表現できない場合があり、家族と相談し職員で話し合い利用者中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人、担当ケアマネ等より情報収集し、その人らしさへの理解を深め、ケアに生かせるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体状況を医療連携看護師と情報共有し、助言等ももらいながら、ご本人らしく過ごせる様個別検討に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃よりご本人の状態を把握し、ご家族や医療、各スタッフの意見を出してもらい、定期的にカンファレンス、モニタリングを行い、プランや支援方法に生かされるよう努めています。	利用者及び家族の意向に沿った介護計画を作成している。カンファレンスで利用者状況やケアについて検討している。3ヶ月毎にモニタリング、見直しは6ヶ月毎に実施している。現状に即した介護計画を作成し、家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の引継ぎや個別介護記録のほかに毎月のカンファレンスを行い情報共有に努めています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎日の記録や毎月のケアカンファレンスを行うことで、具体的アプローチを共有できるよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍の為、具体的協同は難しいですが、地域の訪問美容室を定期的にご利用しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が守屋病院で、全員がかかりつけ医となっており、ご家族の同意を得て医療連携加算をとっています。定期受診や、緊急時スムーズにできるよう連携を密にとっています。</p>	<p>本人及び家族の同意を得たかかりつけ医を決めている。週に2回医療機関のリハビリに通院し、年に2回検診を受けている。病状や薬はその都度家族に報告し共有している。24時間医療連携体制で安心できる医療を提供している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一回以上の医療連携看護師の訪問時に、毎日の見守りで気づいたことを相談しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時にサマリーを作成し、情報共有を行っています。入院中も様子を伺い、状態や情報がわかるように努めています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居契約時、ご家族に重度化対応に関する指針や同意書を書面で説明し、署名捺印していただいています。身体状況に応じて主治医と連携し支援しています。	重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に同意書を得ている。利用者の状態により、本人と家族に医師から説明をしている。事業所は、現在看取りはしない方針である。状況変化に伴い、家族や関係者・主治医と話し合い事業所でできることを説明しながら方針を共有している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の時は看護師・主治医に連携が取れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年1回の消防署の立ち合い。2ヶ月に1回程度の自主訓練を行っています。コロナ禍で自治会長さんへの声かけができていません。</p>	<p>年に1回消防署立ち合いで避難訓練を実施している。2ヶ月毎に通報訓練・風水害避難訓練・勉強会等を実施している。夜間は職員2名であり、近くに協力医療機関がある。備蓄はご飯・レトルト食品・水・紙コップ等を用意している。消毒液・手袋・大型ナイロン袋・ガスコンロ・オムツ等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月のケアカンファレンス・スタッフ会議時に学び職員の意識向上を図り、利用者のプライバシーを損ねない接し方に努めています。	法人で月1回勉強会を実施している。入浴や排泄介助は、プライバシーを損ねないような配慮をしている。言葉遣いや語調に注意し、その方にとっていやなことは言わないように心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を理解し、想いや意向を表現できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を確認しながら本人の希望を理解し支援しています。(テレビ鑑賞・歌を歌う)等		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者ができることはしてもらい、できないことを手伝っています。家族に協力をいただきながら、定期的に衣替えもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	医療、歯科医、栄養士、職員と連携を取りながら利用者の口腔や嚥下状態に合わせて食べやすいように食事携帯を工夫しています。	栄養士の作成した献立を職員が調理を担当している。歯科医の訪問で口腔機能の維持に努めている。食事形態も個々の嗜好に合わせて、きざみ食や普通食に対応している。利用者も野菜洗いや台拭き等を一緒に行うときもある。誕生日食や行事食を提供し食事を楽しむ支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士さんと相談しながら献立、食事形態を検討改善に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後見守りをしながら、できる事は本人にしてもらい最後はスタッフが確認しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間をみながらトイレ誘導を行っています。自分でできるところまではしてもらい、出来ないところを支援しています。	排泄パターンに沿ってトイレ排泄を誘導し自立支援をしている。入所時オムツ使用者がリハビリパンツと尿とりパットに移行したり、布パンツに小パットで自立できるようになったケースもある。夜間は時間でパット交換やトイレ誘導で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、医療連携看護師に排泄、バイタル等の報告を行い、服薬（追加・中止）についての指示を受けています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日・時間は決めて有りますが入居者様の体調や気分に合わせて入浴されています。	週に3回、午後に入浴支援を行っている。何時でも入浴できる支援をしている。個浴主体で職員が介助している。必要時2人介助の場合もある。足浴やシャワー浴の支援もしている。入浴を拒む場合は時間をずらしたり、介助者を変えたり、翌日に変更したり柔軟に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日一回は居室で足を伸ばして休息できるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ同志で薬の確認をしています。入居者様が服用できたか最後まで確認に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物たたみやテーブルふき等手伝いをしてもらっています。時々一階、二階の交流をされ楽しまれています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	コロナ禍外出はできていませんが駐車場で日光浴や体操を行っています。週二回～三回守屋病院へリハビリ行かれています。	<p>日常的には駐車場内での外気浴や周辺の散歩を行っている。医療機関の送迎バスでリハビリに週2～3回出かけ、帰りは花見をしたりミニドライブで写真を撮ったりしている。外出は自粛中であり、事業所内でレクリエーションを行い楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金は所持していません。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	家族からの電話を取り次いでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に保てるように環境整備に努めています。（消毒・換気湿度等）。また、季節ごとにフロア内を飾りつけたりして、常に季節感を感じられるようにしている。カーテン等で光の調節を行ったり、不快な音を立てないように配慮している。	コロナ禍であり、感染防止対策は厳重にしている。フロアは広く駐車場に接しているため採光や換気は充分である。湿度・室温の調整をして、換気を10時、14時に行っている。廊下は手すりがあり、利用者は運動できる様になっている。キッチン是对面式でお互いの顔が見え安心できる。テレビや雑壇を設置し、落ち着いた雰囲気がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本を読んだり、ゲームをしたり、歌やテレビ鑑賞をしてもらう。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたもの（写真・洋服・飾り物）飾っている。居室がわかりやすく、安心して休まれるよう努めています。状況に応じて、ご家族に許可を得て変更することもあります。	エアコン・ベッド・テレビが設置してある。本人や家族写真・ぬいぐるみ・化粧品・装飾品を持ち込んでいる。家族と相談しながら職員と一緒に本人が居心地よく過ごせる様に工夫している。居室にぬれタオルを吊るし乾燥防止をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、起居動作がしやすいように、ベッドサイドの残存能力が安心して生かせるように、努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない